

介入種別	対象となる市町村	実施方法等
<p>A-1 基本チェックリストの 全数配布・ 回収</p>	<p>以下のアイを満たす市町村</p> <p>ア. 基本チェックリストの回収率が3割未満</p> <p>イ. 基本チェックリストを全数配布していない、又は全数配布しているが未回収者のフォローをしていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■基本チェックリスト配布の周知(広報等により、基本チェックリスト・介護予防の説明等を含めて周知) ■基本チェックリストを全高齢者(要支援・要介護認定者除く)へ配布する ■回収率5割以上を目標とし、未回収者へフォロー(電話・訪問等により聞き取りまたは回収)を行う
<p>A-2 介護予防教室の重点的 な周知・開 催</p>	<p>以下のアイウを満たす市町村</p> <p>ア. 基本チェックリストの回収率が3割未満</p> <p>イ. 基本チェックリストを全数配布していない、又は全数配布しているが未回収者のフォローをしていない</p> <p>ウ. 介護予防教室を8グループ実施することが可能な市町村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■400人以上を目安に介護予防教室の周知(手紙、電話、訪問等により周知) ■参加率5割以上(200人以上)を目標とし、介護予防教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・頻度: 1グループにつき、2週間に1回程度(計3回) ・内容: 運動+介護予防の普及・啓発(運動・栄養・口腔・閉じこもり・認知症・うつ) ・参加者には、介護予防教室を口コミ等で広めてもらう

5 プログラム介入の対象と実施方法等

介入種別	対象となる市町村	実施方法等
B-1 運動器疾患対策プログラム	運動器疾患対策プログラムを2グループ(1グループあたり20人、3ヶ月で24回開催)実施することが可能な市町村	<ul style="list-style-type: none"> ■対象は、一般高齢者＋特定高齢者 ■アンケート調査を実施し、参加意向、痛み等の症状がある人を中心に、対象者を選定 ■運動器疾患対策プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・頻度：1グループにつき、1週間に2回（計24回） ・内容：膝痛・腰痛対策、転倒・骨折予防 ・参加者：1グループ20人程度 ・介入群1グループ；対照群1グループ
B-2 複合プログラム	複合プログラムを4グループ(1グループあたり20人、3ヶ月で8回開催)実施することが可能な市町村	<ul style="list-style-type: none"> ■対象は、一般高齢者＋特定高齢者 ■アンケート調査を実施し、参加意向、栄養状態又は口腔機能の低下がみられる人を中心に、対象者を選定 ■複合プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・頻度：1グループにつき、2週間に1回（計8回） ・内容：栄養改善・口腔機能向上のプログラムに、運動器の機能向上プログラムを付加 ・参加者：1グループ20人程度 ・介入群2グループ；対照群2グループ
B-3 認知機能向上プログラム		<ul style="list-style-type: none"> ■ 調整中

介護予防実態調査分析支援事業の概要と進捗状況

特定高齢者施策の現状と課題

	基本チェックリストを 実施した者	特定高齢者 候補者	特定高齢者	施策参加者
目 標 (高齢者人口に占める割合)	40～60%	10～15%	8～12%	5%
平成19年11月 (平成19年11月末時点調査)	23.9%	4.9%	2.5%	0.3%
平成20年3月 (平成19年度介護予防事業報告)			3.3%	0.4%

課題1 → A-1・A-2

特定高齢者の把握が十分進んでいない

課題2 → A-2・B-2

特定高齢者施策への参加率が低い

課題3 → B-1・B-3

介護予防の更なる推進に向けた取組

実施内容と進捗状況

